

大会注意事項

《 大会の運営及び注意事項 》

1. 選手は、試合開始15分前にテニスの服装をして、本部に出席を届けなければならない。出席を届けない選手は失格となる。
2. 試合前の練習は、原則としてサービス2本のみとする。
大会本部が認めた場合のみ3分の練習が認められる。
3. 個人戦の審判は、すべてSCUで行うことを原則とする。初回戦は、SCU用員をできるかぎり用意すること。
4. 審判は、初回戦を除いて、敗者審判とする。自信と権威を持ってその任にあたること。
5. 勝者は、試合終了後試合相手および審判と敗者に対してスコアを確認し直ちに、結果を本部に届けること。
6. 原則として、ボールは敗者ボールとする。
7. 予選はすべて、1セットマッチ、6-6にて12ポイントタイブレークを実施する。
8. 本戦は、日程表に基づいた試合形式を行う。
9. 試合中は、他人のコーチングを受けてはならない。応援する者は、コートの中に入ってはならない。応援の品位を欠いてはならない。
10. プレーヤーは、品位を欠く言動、行動をしてはならない。そのような行為があったときには、試合を没収することがある。常日頃からプレーヤーとしてのマナーに留意すること。
11. 控えの試合の選手は、コート周辺で待機すること。試合の進行に協力すること。
12. 選手は、雨天の場合でも会場に集合し出席を届け、日程変更などの本部指示を待つこと。
電話などでの問い合わせ、連絡は厳禁する。雨天時欠席の選手は順延した試合には出場できない。
13. 警報発令に対する対応は、顧問会議で確認するので、各校の顧問より指示を受けること。
14. 大会使用球は団体戦、個人戦共に、「ウィルソン US OPEN EXTRA DUTY」である。
15. この大会の試合結果はWEBページ(<http://www.wada-system.jp/hhst/look.html>)で確認することができる。予選の記録のミスがあった場合は必ず5月15日までに自分の学校の顧問を通して大会事務局に申し出ること。期日以後の訂正には応じない。会場校の紙による記録とWEBページの記録が一致しなかった場合は会場校の紙による記録を優先するものとする。なお、このWEBページは予選(4月21日~5月16日)、本戦(5月19日~6月18日)の期間にしか閲覧できない。それ以後は高体連ホームページ(<http://www.hyogo-tennis.net/koutairen/>)の記録のページにあるPDFファイルを見るようにすること。

《 団体戦の注意 》

1. 各校は指定された時間までにメンバー全員及び監督が揃った状態で本部に出席を届けること。出席を届けない場合は失格となる。
また、当日病気などで欠席の選手が出た場合は大会本部に所定の書式で後日届け出ること。
2. 各校は予選会場に出席時に1ダース、ボールを受け取る。尚、勝者は常にニューボール1ダースを持って次の試合に臨み、準々決勝進出校は本戦(5月23日)にニューボール1ダースを持参するのを忘れないこと。使用球は敗者校が残りのニューボールと共に持ち帰る。
3. 予選は、初回戦は3ポイントすべて行うが、以後は勝ち決定後ポイント打ち切りの場合がある。試合順はダブルス、シングルスNo1、シングルスNo2の順で行うものとする。
4. 会場には全員が使える更衣室がないので、試合のできる服装で集合することが望ましい。
5. 予選の審判は相互校による主審、副審制で行うことを原則とする。(要項の審判必携参照)
6. 団体戦は必ず監督の先生(または顧問可)の引率のもとで試合を行う。引率なしでの試合参加は認めない。
7. 団体戦のベンチコーチは登録監督1名(予選は引率顧問可)または登録選手1名に限る。
8. 雨天の場合でも各会場に集合すること。電話での問い合わせ、連絡は原則として禁止する。
9. 出場校は、必ず審判員を帯同すること。

《 推薦大会 》

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に、以下の選手を推薦する。

団体戦は男女各1校

個人戦は 男子 シングルス 5名、ダブルス2組 女子 シングルス 4名、ダブルス3組

《 順位決定戦 》

男子のシングルスベスト8での敗者4人で、また、女子のダブルス準決勝敗者同士での順位決定戦を行う。試合方式はすべて1セットマッチゲームカウント6-6となったときは12ポイントタイブレーク方式で行う。